

平成 27 年度 日本医療研究開発機構委託研究開発費（AMED）に係る

利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 28 年 1 月 18 日

研究開発課題名：高齢脳卒中患者をモデルとした栄養管理と摂食機能訓練に関するアルゴリズム
の開発、および経口摂取状態の改善効果の検証

研究開発分担者：リハビリテーション学 教授 椿原 彰夫

川崎医科大学 リハビリテーション 教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」としての企業からの研究助成があるが、これらは当学園にて受け入れ、管理されている。また、企業・団体からの報酬・謝礼・原稿料等の個人的収入の受け入れがある。本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査を行い、適正に管理されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 26 年度における研究助成の提供団体および個人的収入の提供団体を以下に示す。

企業名：株式会社 IFG、診断と治療社